

# 市の高齢者福祉サービスを紹介します



市では、高齢者の皆さんの健康保持や生活の安定などに役立てるためのサービスを実施しています。また、長年にわたり社会の発展に寄与されたことに敬意を表するとともに、生きがいを持ちながら日々を過ごせるよう、さまざまな事業を展開しています。今回はその中から、代表的なものを紹介します。※世帯の課税状況などにより、給付の水準などが異なる場合があります。

## 1 乳酸飲料などの配達サービス

乳酸飲料などの配達により、日常的に安否の確認を行う見守りのためのサービスです。

- ▶対象 ①65歳～74歳の身体的・生活環境的な理由により、見守りが必要な一人暮らしの方  
②75歳以上の一人暮らしの方  
※いずれも、現在、見守りが行われている、または見守りを目的とした他のサービスを受給している場合を除きます。

- ▶利用者負担 無料  
▶配達 週3回・3本(隔日)

## 2 配食サービス

栄養バランスの取れた食事の配達により、健康の保持・増進に寄与するとともに、安否の確認を行う見守りを兼ねたサービスです。糖尿病の方への対応も可能です。

- ▶対象 65歳以上の方のみで構成されている世帯の方で、自ら食事の用意をすることが困難で他者からも食事の提供を受けられない状況にある方

- ▶利用者負担 1食当たり400円  
▶配達 1人当たり週4食(土・日曜日を含む)まで※希望の曜日と昼・夕食のいずれかを選択可

## 3 紙おむつの給付(宅配)サービス

紙おむつの配達により、本人および家族の精神的・経済的負担を軽減するサービスです。

- ▶対象 65歳以上の寝たきりまたは認知症の方(一定の基準あり)で、現在、在宅で介護を受けている方

- ▶利用者負担 無料  
▶配達 委託業者が自宅へ配送

## 4 日常生活用具の給付サービス

ボタン一つで消防指令センターにつながる「緊急通報装置」などを給付することで、生活の利便性の向上や安心感を得ることのできるサービスです。

- ▶対象 おおむね65歳以上の一人暮らしの方など※給付用具の種別により異なります。

- ▶利用者負担 用具購入額の1割など

## 5 介護慰労手当の支給

要介護認定を受けた方などを介護する家族の労をねぎらうため、手当を支給しています。

- ▶対象 要介護4以上または65歳以上で重度の認知症が6カ月以上継続している方を、現在、在宅で介護している家族の方

- ▶支給額 月5,000円(支給月は4月・8月・12月)

## 成年後見制度に関する相談を受け付けています。

成年後見制度とは、認知症や知的障害、精神障害などにより判断能力が十分でない方を法的に支援する制度です。市内に4カ所ある「地域包括支援センター」で相談を受け付けています。

住んでいる地域によって担当する地域包括支援センターが異なります。詳しくは高齢者福祉課に問い合わせください。

市で実施するものの他、行田市社会福祉協議会でも「いきいき・元気サポート制度」や福祉車両の貸し出しなど、さまざまなサービスを提供しています。

- ▶問い合わせ 市の高齢者福祉サービスについては高齢者福祉課高齢福祉担当(内線225)、成年後見制度については同課地域支援担当(内線278)、いきいき・元気サポート制度や福祉車両の貸し出しなどについては社会福祉協議会 ☎557-5400

## 人権擁護委員に 委嘱されました

私たちの基本的な人権の擁護や自由人権思想の普及などのために活動している人権擁護委員の松田重俊氏(埼玉)と松井愛子氏(荒木)は、9月30日をもって任期満了となりましたが、引き続き人権擁護委員に委嘱されました。また、片桐雅章氏(城西)が新たに委嘱されました。

人権擁護委員の任期は3年で、10月1日付けで法務大臣から委嘱を受けました。



松田 重俊 氏



松井 愛子 氏



片桐 雅章 氏

▶問い合わせ 人権推進課人権同和対策担当(内線221)

ご参加ください

## 健康づくり講演会 「賢く食べて健康寿命を延ばす～世界調査で分かった秘訣～」

- ▶日時 11月19日(火)午後1時30分～3時(午後1時開場)
- ▶場所 商工センターホール
- ▶内容 世界的に伝統に根ざした食文化が見直されている現在、健康食材として注目されている「大豆」をテーマとしたセミナーです。  
・家森幸男先生による講演「賢く食べて健康寿命を延ばす～世界調査で分かった秘訣～」  
・大塚製薬株式会社、行田市による大豆に関する情報提供
- ▶入場料 無料
- ▶その他 申し込み不要(直接会場へお越しください)
- ▶問い合わせ 保健センター健康づくり支援担当(市役所内・内線378)



### 家森幸男先生プロフィール

昭和12年、京都市生まれ。京都大学大学院修了。医学博士、鳥根医科大学、京都大学大学院教授を経て、両名誉教授。現在、武庫川女子大学国際健康開発研究所所長、(公財)兵庫県健康財団会長。高血圧の研究から脳卒中ラットを開発し、脳卒中が予防できることを実証。世界25カ国61地域を、20余年を費やし調査。大豆や魚介類を常食する食文化地域では、健康長寿であることを証明。現在は、世界各地の食文化を尊重しつつ食生活改善に努める。〈著書〉「ついに突きとめた究極の長寿食」「世界一長寿な都市はどこにある?」「大豆は世界を救う」他多数

### 行田市国保・協会けんぽからのお知らせ 特定健診は受けましたか

行田市国民健康保険(行田市国保)と全国健康保険協会埼玉支部(協会けんぽ)の合同による特定健診受診のご案内です。

協会けんぽの健診を実施している健診機関では、協会けんぽ加入者本人およびその被扶養者の方と行田市国保加入者の方が、同じ日に健診を受けることができます(土曜日受診可)。ぜひ、この機会に受診して、自分や家族の健康について見直してみましよう。なお、事前予約が必要ですので、各健診機関にお問い合わせください。

▼協会けんぽ加入者と行田市国保加入者が同時に受けられる健診機関

- ・川島胃腸科 ☎553-0001
- ・行田協立診療所 ☎556-4581 (第2土曜日休診)
- ・清幸会行田中央総合病院健康管理センター ☎553-2426
- ・壮幸会行田総合病院附属行田クリニクス ☎554-0005

▼協会けんぽへの問い合わせ 全国健康保険協会埼玉支部保健グループ ☎048-658-5915 (月～金曜日の午前8時30分～午後5時15分)

※行田市国保の平成25年度の健診は12月20日(金)までです。対象の方には、

5月に受診券を送付しています。実施医療機関などは、受診券に同封の「特定健康診査のご案内」をご覧ください。なお、行田外科医院、ハピネス診療所では受診できませんので、ご注意ください。

▼問い合わせ 保険年金課国保担当(内線271)

### 人間ドックの胃検査で 胃カメラ検査を選択できます

行田市国民健康保険または後期高齢者医療保険の人間ドックを受けるときの胃検査の方法について、レントゲン検査(バリウム検査)と胃カメラ検査が選択できるようになりました。なお、医療機関によっては、胃カメラ検査が実施できない場合があります。

また、胃カメラ検査を選択する場合は、別途追加料金が発生する場合がありますので、受診希望の医療機関にご確認ください。

▼問い合わせ

保険年金課国保担当(内線271)

